

集まれキッズ ミニ風力発電機工作教室 実施報告書

実施日時 2014年8月2日(土) 13:30~16:00

会場 ときわ公園湖水ホール ミーティングルーム

講師 溝田忠人 宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA) 代表、山口大学名誉教授  
指導員(ボランティア) 以下敬称略

田中護、松重泰夫、上田純二、平泉恵子、潮村浩三朗、近藤幸海

スタッフ 宇部市公園緑地課 加来良太

環境政策課 谷口恭子、白石学

UNCCA 仰木則康、木原裕子、松井民男

募集 小学生 30名 (1~3年は保護者同伴)

「広報うべ (7月1日号)」、「TOKIWAファンタスティックサマー」チラシ

参加費 500円

応募の状況 7月16日募集人員30名達成、応募締切

参加者 29名 (当日キャンセル1名)

内訳 市内14名、市外5名 (詳しくはアンケート結果参照)

#### 工作教室スケジュールと内容

○開会あいさつ (環境政策課谷口副主幹)

○スケジュールと指導者、指導員紹介 (UNCCA事務局)

○ときわ公園紹介 (公園緑地課 加来良太係員)

公園内に設置されている太陽光発電、風力発電等の自然エネルギー設備やリフレッシュする遊園地等を紹介

配布資料: ・パンフレット 「ときわ公園」(添付資料-1)

「ときわ公園の動物園ゾーンが生まれ変わります！」

(添付資料-2)

「風レンズ風車」(添付資料-3)

・電気自動車工作ペーパークラフト

○自然エネルギーぶちツアー

加来係員の案内で風レンズ風力発電機と公園で活躍している電気自動車の見学

溝田先生からホール内に設置の風レンズ風力発電機と太陽光発電のモニター画面の説明

○ミニ風力発電機 (風レンズ風車) の工作

①溝田先生から風レンズ風車の原理の説明

②溝田先生の指導のもと風レンズ風車の組立て

・6班に分れ、各班にボランティア指導員1名を配置し工作作業をサポート

・段階毎に手順を追って工作・組立を実施

・組立完了後、扇風機の風で風レンズ風車を回し、LEDライトの点灯を確認。

配布資料：風レンズ風車工作用設計図（添付資料-4）

## ○アンケート

工作教室の評価を目的に参加者を対象にアンケートを実施（別紙参照）

### 感想

- ・7月1日の応募開始（「広報うべ」掲載後）から、すぐに定員となり応募を締め切った。その後も応募があり、残念ながらお断りせざるを得なかった。
- 又、応募の半分が市外（県内他市）からのものであり、ときわ公園チラシ：「TOKIWAファンタスティックサマー」の宣伝効果が大きいことがうかがえる。
- ・上記の理由により、作成したチラシ(添付資料-5)の配布は100枚にとどまった。
- ・工作教室は工作時間が予定時間を超過したため、レンズ（つば）効果の確認ができなかった。
- ・時間が掛かった理由は、工作の中で風車の組立・取付けが難しかったようなので、今後はこの部分の工作が手早くできるよう工夫をする。
- ・工作終了後おこなったアンケートでは、「難しかったが楽しかった」という感想が多くあり、参加した子ども達が、苦勞をしながらもこのイベントを楽しんでくれたことが察せられた。

## 写真



1) 工作の前、ときわ公園の紹介



2) 風レンズ風車の見学



3) 電気自動車の見学



5)風レンズ風車工作(1)

4) 太陽光発電モニターの説明



6)風レンズ風車工作(2)



7)風レンズ風車工作(3)



8)風レンズ風車工作(4)



9)風レンズ風車工作(5)



10)完成した風レンズ風車

以上